



笑顔あふれる大北小 夢が広がる大北小

大北小だより

12月号

平成30年11月30日
練馬区立大泉北小学校
校長 内木 勉

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

思いを伝える

校長 内木 勉

11月9日・10日に開催いたしました展覧会に、2日間合わせて1200名を超える方々にご来場いただきました。心より御礼申し上げます。今回の展覧会のテーマは『みつけよう、あらわそう！自分の色・形』。ご来場いただいた皆様に、子供たちの思いや表現を見て感じていただけたのではないかと思います。

図工の学習は、子供たちの大好きな授業のひとつです。それは、一人一人の思いやひらめきを自分なりに表現することができるからだと思います。「思いを形にする」、言葉にすれば簡単ですが、これを実現していくことは、とても難しいことです。まず自分と向き合い、試行錯誤しながら、自分の思いやイメージを少しずつ見つけていきます。そして、それらを今度は形にするために、さらに試行錯誤を繰り返していきます。この作業の中で新たなイメージやひらめきが生まれ、自分なりの色合いや形を見つけていきます。こうした作業の中から生まれた作品は、子供たちにとってかけがえのない宝物なのです。

大北小では、展覧会に際して思いを伝える2つの取組をおこなっています。1つめの取組はペア鑑賞です。1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生が、それぞれ兄弟学級でペアを組み、鑑賞の時間に自分の作品を説明し合うというものです。1年生が6年生の手を引っ張り、自分の作品まで連れて行き、そして本当に一生懸命、自分の作品の説明をしていました。この時の表情は、自分の大事な宝物をこっそり見せてあげるような、そして、どこか誇らしげな何とも素敵な表情なのです。大北小で大切にしている「思いを伝える」活動のひとつです。

2つめの取組は6年生の学芸員活動です。10日の保護者鑑賞日に、6年生各学級が1時間ずつ学芸員を担当しました。学芸員は来場された保護者や地域の方々に、担当となった学年の作品の解説をおこないます。そのために6年生は、作品のテーマや材料の工夫、制作の過程、苦労したところやがんばったところなどを、担当した学年の先生方や子供たちに取材し、準備を進めてきました。自分の作品ではありませんが、取材の中で見つけた各学年の思い、自分が見つけ感じた作品のよさを伝えたいという思いが伝わってくるものでした。6年生の子供たちは、学芸員活動を通して、思いを伝える難しさとともに、思いが伝わった時の喜びを味わうことができたのではないかと思います。来場された方々を待つ6年生の緊張した表情。なかなか声をかけられず悩み立ち尽くす姿。勇気をふりしぼって声をかけた時の表情。自分の思いを伝える一生懸命な姿。解説を聞いてくださった方が「ありがとう」と言ってくださった時の本当に眩しいくらいの笑顔。これも大北小が大切にしたい「思いを伝える」活動のひとつなのです。

展覧会に際しまして、材料の準備等、保護者の皆様にご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。展覧会にご来場いただきました皆様が、子供たちのたくさんの思いと出会っていただけたならば幸いです。大泉北小学校では、これからもさまざまな教育活動を通して「思いを形にすること」「思いを伝えること」に取り組んでいきます。教職員一丸となり、子供たち一人一人の思いを大切にに取り組んでいきたいと思っております。

持久走大会に向けて

体育的行事委員会 星野 勝

12日、13日に持久走大会が行われます。昨年までのマラソン大会から名称を変え、持久走大会となります。1・2年生は600m。3・4年生は1200m。5・6年生は1800mを走ります。

持久走のねらいは、「体力の向上」と「自分の目標に向かって最後まで頑張る」ことです。それぞれ自分の目標に向かって頑張ってください。

大会本番に向けて、持久走タイムも始まっています。中休みの5分間全校で持久走に取り組みます。自分のペースで最後まで走り抜くことが目標です。各学年で持久走カードも配布していますので、活用してください。

持久走大会参加票を7日（金）までに各担任までご提出ください。また、毎日の健康観察・体調管理も合わせてよろしくお願いいたします。

持久走大会当日はもちろんですが、日々の積み重ねを大切に、練習してきた成果を発揮できるように、ご家庭での励ましをよろしくお願いいたします。



教材費の口座引き落としについて

11月号でもお知らせしましたが、再度、教材費の口座引き落としについて説明させていただきます。

しかしながら、11月の段階ではかなりのご家庭が残高不足となっているのが現状です。1月には、3学期分の教材費（各学年ごとに異なります）を同様に給食費とともに引き落とします。残高についてご注意ください。

12月行事予定

1	土	
2	日	
3	月	全校朝会 委員会活動 3年大根収穫
4	火	6年連合音楽鑑賞教室 4年色覚検査（希望者） 4年本の探検ラリー
5	水	音楽集会 研究授業（6の2以外4時間）
6	木	クリーン運動 5年収穫祭
7	金	安全指導 3年社会科見学（区内巡り）
8	土	2年防災学習（防災人形劇）
9	日	
10	月	全校朝会 クラブ⑩
11	火	持久走旬間終
12	水	児童集会 持久走大会624
13	木	持久走大会513
14	金	避難訓練（不審者対応）
15	土	
16	日	
17	月	全校朝会 クラブ⑪
18	火	5年社会科見学
19	水	けやき班遊び 持久走大会（予備）
20	木	持久走大会（予備）
21	金	6年租税教室
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	終業式 給食終 大掃除 5時間授業
26	水	冬季休業日始
27	木	
28	金	
29	土	学校閉校期間
30	日	学校閉校期間
31	月	学校閉校期間

12/29～1/3 は機械警備となり学校へ入れません。1/4 は学校閉校期間です。

展覧会を終えて

1年

金子 祥子

初めての展覧会、自分の作品を作ることも他の学年の作品を鑑賞することもとても楽しみにしていました。平面作品「海のパラダイス」では、スクラッチの魚を作ることから始めて少しずつ作品を仕上げていきました。全員分が飾られると全部が一つの絵のようで「仲間」のように見えました。

立体作品「ころちゃんアイランド」では、混紡材に顔を書いたり手足がついたりすると、一つ一つに性格があるようなとても生き生きとしたころちゃんが生まれてきました。完成した作品を飾られると、子供たちが自分の作品を大事そうに見ている姿がありました。

鑑賞の時間には、ペアの6年生に説明してもらいながら一緒にまわりました。展覧会の雰囲気圧倒されながらも「かっこいい!」「つくってみたい!」など上級生へのあこがれの感想も聞きました。



2年

前田洋子

初めての展覧会が終わりました。ご家庭のご協力ありがとうございます。準備の段階から、「絶対こっちの作品を出したい。」などの思い入れも強かった作品ばかりです。「たまごの中からこんにちは」では、「おしゃれな模様の卵の中から、見たこともない生き物が勢いよく出てきました。」というお話の場面を想像して描きました。好きな動物の特徴をヒントにして、勢いよく飛び出す様子が伝わるように形やポーズを工夫しました。背景には、絵の具を溶かしたシャボン玉で微細な模様を吹き付けました。「元気なザリガニ」では、教室で飼っているザリガニを観察し、紙いっぱい迫力ある姿を描きました。「おいしいお弁当」では、自分の食べたい世界に一つだけのお弁当を作りました。児童鑑賞日は、どれも力作・自信作の中、4年生に笑顔で自分の作品を説明していました。多学年の作品も、憧れの目で鑑賞していました。



3年

西野 千絵

図工が大好きな3年生。どの子も豊かな発想力で素敵な作品を作ることができました。平面作品「でこぼこもよのなかまたち」では、ローラーやばれんを使って版面を刷る活動をととても楽しんでいました。「ふしぎなりのもの」では、自分のアイデアをいきいきと説明してくれる姿が印象的でした。立体作品「金色モンスター」では、目の位置や足の形、口の開き方など細かい部分にもこだわりをもって作り上げました。子どもたちにとって、どの作品も思い出深い作品になったと思います。

鑑賞日当日は、自分の工夫したところや難しかったところを5年生に一生懸命説明することができました。また、他の学年の作品を見ると、驚きと感動の声が聞こえ、「これも作ってみたい!」と図工への意欲がさらに高まった様子でした。



4年

弘田 志緒

4年生は、どの子も個性豊かな作品を作り上げることができました。平面作品「マイネーム・マイカラー」では、画用紙の中に自分の名前を上手にデザインしてありました。「絵の具の遊ビジュツ!」では、鳥や魚の絵を描いて切って貼るのが大変だったようです。

立体作品「ビーンズハウス」では、別荘やマイホームをデザインして、見事に仕上げていました。難しかったところは、家の中の家具作りだったそうです。ハンモックやエレベーターを作る子もいて、一人一人工夫していました。

展覧会当日、体育館全体が素敵な美術館になっていて、子供たちは感動していました。作品を作り上げた達成感や感動を大切にしていってほしいと思います



5年

畠山 華衣

5年生は、平面作品の「でこぼこ広場に絵の具が走る」「一版多色刷り版画～深海の世界～」、立体作品の「ビー玉大冒険!」、家庭科作品のエプロンを展示しました。どの作品も試行錯誤を繰り返し、満足のいく仕上がりになりました。

特に家庭科作品では、ミシンに初挑戦する子供たちが多く、慣れない作業に最初は戸惑いました。しかし、友達と協力し合ったり、保護者の方々の手伝いもあったりし、完成まで漕ぎ着くことができました。自分の思い思いの刺繍や装飾もすることができ、一人一人個性的なエプロンを作り上げることができました。協力してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



6年

吉田 悠太

6年生は図工の平面作品として「こころの色・形」「風神雷神に挑戦!」、立体作品として「12年後の私」、家庭科作品としてナップザックを展示しました。小学校生活最後の大きな行事に気合いも入り、最高学年の名に恥じない作品を作り上げることができました。

また、作品作りだけでなく会場準備から展覧会に関わり、当日には学芸員としての仕事も果たしました。事前に各学年の作品のよさや苦勞を先生方にインタビューをし、説明する内容を自分たちで構成した学芸員。緊張して自分から話しかけるのに苦勞した子もいましたが、一度説明したら練習の成果を発揮できたようです。学芸員の話に耳を傾けてくださった皆様、ありがとうございました。

